

## C04 セメント；コンクリート；人造石；セラミックス；耐火物 [ 4 ]

### 注

このクラスは他の分類，例えば機械的加工 B 2 8，キルン F 2 7 に分類される機械的特徴は包含しない。

C04B 石灰；マグネシア；スラグ；セメント；その組成物，例．モルタル，コンクリートまたは類似の建築材料；人造石；セラミックス（失透ガラスセラミックス C 0 3 C 1 0 / 0 0 ）；耐火物（耐火性金属を基とする合金 C 2 2 C ）；天然石の処理 [ 4 ]

### 注

このサブクラスにおいて，下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる：[ 6 ]

“ 充填材 ” は顔料，骨材および繊維強化材料を包含する。[ 6 ]

“ 活性成分 ” は処理加工助剤または性質改良剤，例．焼成工程後に使用されるかまたは焼成工程なしで使用される粉砕助剤，を包含する。[ 6 ]

“ モルタル ”，“ コンクリート ” および “ 人造石 ” は単一グループの材料として考えるべきであり，それゆえ，相反する指示がない限り，それらはモルタル，コンクリートおよびその他のセメント組成物を包含する。[ 6 ]

### サブクラス内の索引

石灰，マグネシア；スラグ	2/00, 5/00
セメント	7/00-12/00
モルタル；コンクリート；人造石	
組成物	26/00-32/00
充てん材	14/00-20/00
活性成分	22/00, 24/00
多孔質製品	38/00
モルタルの性質に影響を与えることまたはその変化	40/00
後処理	41/00
セラミック	
粘土製品	33/00
その他のセラミック	35/00
接合	37/00
多孔質製品	38/00
後処理	41/00
天然石の処理	41/00

### 石灰，マグネシア；スラグ

2/00	石灰，マグネシアまたはドロマイト [ 4 ]
2/02	・石灰 [ 4 ]
2/04	・消化 [ 4 ]
2/06	・物質，例．疎水化剤，の添加によるもの [ 4 ]
2/08	・その装置 [ 4 ]
2/10	・予熱，焼成，か焼または冷却（セメント原料の焼成期間中の脱炭酸 C 0 4 B 7 /

4 3 ) [ 4 ]

2/12	・直立炉または堅形炉におけるもの [ 4 ]
5/00	溶融スラグの処理（スラグウールの製造 C 0 3 B ；金属の製造中または製造用のスラグの処理 C 2 1 B，C 2 2 B ）；溶融スラグからの人造石 [ 4 ]
5/02	・造粒（造粒装置 B 0 1 J 2 / 0 0 ）；脱水；乾燥
5/06	・溶融スラグに添加された水以外の成分；ガスまたはガス発生材料による処理，例．多孔質スラグを得るためのもの [ 4 ]

### セメント

#### 注

グループ C 0 4 B 7 / 0 0 ~ C 0 4 B 3 2 / 0 0 においては，ラストプレイス優先ルールが適用される，すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り，最後の適切な箇所に分類する。[ 4 ]

7/00	水硬性セメント
7/02	・ポルトランドセメント
7/04	・石こうを含む原料を使用するもの
7/06	・アルカリ原料を使用するもの
7/12	・天然ボゾラン；天然ボゾランセメント [ 4 ]
7/13	・無機セメント質材料，例．ポルトランドセメント，との混合物 [ 4 ]
7/14	・スラグを含むセメント
7/147	・冶金スラグ [ 4 ]
7/153	・他の無機セメント質材料または他の活性化剤との混合物 [ 4 ]
7/17	・活性化剤を含有する酸化カルシウムとの [ 4 ]
7/19	・ポルトランドセメント [ 4 ]
7/21	・活性化剤を含有する硫酸カルシウムとの [ 4 ]
7/22	・鉄鉱セメント
7/24	・油頁岩，残留物またはスラグ以外の廃棄物から製造されたセメント [ 4 ]
7/26	・煙道ダストを含む原料からのもの
7/28	・燃料残留物からのもの（C 0 4 B 7 / 2 6 が優先）[ 4 ]
7/30	・油頁岩からのもの；油頁岩残留物からのもの [ 4 ]
7/32	・アルミナセメント
7/34	・水硬性石灰セメント；ローマンセメント
7/345	・グループ C 0 4 B 7 / 0 2 ~ C 0 4 B 7 / 3 4 の 1 つに属さない水硬性セメント [ 4 ]
7/36	・水硬性セメントの製造一般
7/38	・個々の，またはバッチとしての原料の調整または処理 [ 4 ]
7/40	・脱水；成形，例．造粒（造粒装置 B 0 1 J 2 / 0 0 ）
7/42	・焼成工程の前またはその期間中に添

	加される活性成分
7/43	・熱処理，例．予備か焼，焼成，溶融；冷却 [ 4 ]
7/44	・焼成；溶融 [ 4 ]
7/45	・流動床での [ 4 ]
7/46	・電氣的なもの [ 4 ]
7/47	・冷却 [ 4 ]
7/48	・クリンカー処理 ( C 0 4 B 7 / 4 7 が優先 ) [ 4 ]
7/51	・水和 [ 4 ]
7/52	・粉砕
7/60	・アルカリ金属またはその化合物の除去方法 [ 4 ]
9/00	マグネシウムセメントまたはそれに類似するセメント
9/02	・塩化物を含むマグネシウムセメント，例．ソーレルセメント
9/04	・硫酸塩，硝酸塩，りん酸塩またはふっ化物を含むマグネシウムセメント
9/06	・マグネシウム化合物以外の金属化合物，例．亜鉛または鉛化合物，を含有するセメント
9/11	・他の無機セメント質材料との混合物 [ 4 ]
9/12	・水硬性セメント，例．ポルトランドセメント，との [ 4 ]
9/20	・製造，例．バッチの調整 (石灰岩，マグネサイトまたはドロマイトの予熱，焼成，か焼または冷却 C 0 4 B 2 / 1 0 )
11/00	硫酸カルシウムセメント
11/02	・石こうの脱水
11/024	・か焼工程の前またはその期間中に添加される成分，例．か焼変性剤 [ 4 ]
11/028	・その装置 [ 4 ]
11/032	・湿式法，例．溶液中でのまたは飽和蒸気条件下での脱水，のためのもの [ 4 ]
11/036	・乾式法，例．流動床またはロータリーキルン中での脱水，のためのもの [ 4 ]
11/05	・無水石こうの取得 ( C 0 4 B 1 1 / 0 2 8 が優先 ) [ 4 ]
11/06	・硬石こうを出発物質とするもの
11/26	・りん酸石こうまたは廃棄物，例．煙の浄化生成物，を出発物質とするもの ( C 0 4 B 1 1 / 0 2 が優先 ) [ 4 ]
11/28	・他の無機セメント質材料との混合物 ( C 0 4 B 7 / 0 4 ， C 0 4 B 7 / 1 5 3 が優先 ) [ 4 ]
11/30	・水硬性セメント，例．ポルトランドセメント，との [ 4 ]
12/00	グループ C 0 4 B 7 / 0 0 ~ C 0 4 B 1 1 / 0 0 に属さないセメント [ 4 ]
12/02	・りん酸セメント [ 4 ]
12/04	・アルカリ金属またはけい酸アンモニウムセメント [ 4 ]

## モルタル，コンクリート，または人造石のための充填材としての材料の使用

14/00	モルタル，コンクリートまたは人造石のための充填材，例．顔料，としての無機物の使用；モルタル，コンクリートまたは人造石に対する無機物の充填性を向上させるのに特に適合する処理 ( 建築材料用補強要素 E 0 4 C 5 / 0 0 ) [ 4 ]
14/02	・粒状材料 [ 4 ]
14/04	・けい素に富んだ材料；けい酸塩 [ 4 ]
14/06	・石英；砂 [ 4 ]
14/08	・けいそう土 [ 4 ]
14/10	・粘土 [ 4 ]
14/12	・膨張した粘土 [ 4 ]
14/14	・火山起原の鉱物 [ 4 ]
14/16	・多孔質のもの，例．軽石 [ 4 ]
14/18	・パーライト [ 4 ]
14/20	・雲母；ひる石 [ 4 ]
14/22	・ガラス [ 4 ]
14/24	・多孔質のもの，例．発泡ガラス [ 4 ]
14/26	・炭酸塩 [ 4 ]
14/28	・カルシウムの [ 4 ]
14/30	・シリカ以外の酸化物 [ 4 ]
14/32	・炭化物；窒化物；ほう化物 [ 4 ]
14/34	・金属 [ 4 ]
14/36	・グループ C 0 4 B 1 4 / 0 2 ~ C 0 4 B 1 4 / 3 4 に属さない無機物 [ 4 ]
14/38	・繊維状材料；ウイスキー [ 4 ]
14/40	・石綿 [ 4 ]
14/42	・ガラス [ 4 ]
14/44	・アルカリ耐性を増加させるための処理 [ 4 ]
14/46	・岩綿 [ 4 ]
14/48	・金属 [ 4 ]
16/00	モルタル，コンクリートまたは人造石のための充填材，例．顔料，としての有機物の使用；モルタル，コンクリートまたは人造石に対する有機物の充填性を向上させるのに特に適合する処理 ( 建築材料用補強要素 E 0 4 C 5 / 0 0 ) [ 4 ]
16/02	・セルロース質材料 [ 4 ]
16/04	・高分子化合物 ( C 0 4 B 1 6 / 0 2 が優先 ) [ 4 ]
16/06	・繊維状の [ 4 ]
16/08	・多孔質の，例．発泡ポリスチレンビーズ [ 4 ]
16/10	・モルタルとの混合性を高めるための処理 [ 4 ]
16/12	・形状によって特徴づけられたもの ( 繊維状高分子化合物 C 0 4 B 1 6 / 0 6 ；多孔質高分子化合物 C 0 4 B 1 6 / 0 8 ) [ 4 ]
18/00	モルタル，コンクリート，または人造石の

ための充填材としての凝集物もしくは廃棄物または屑の使用；モルタル，コンクリート，または人造石に対する塊成化物質もしくは廃棄物または屑の充填性を向上させるのに特に適合する処理（建築材料用補強要素 E 0 4 C 5 / 0 0 ）[ 4 ]

- 18/02 ・塊成化物質 [ 4 ]
- 18/04 ・廃棄物；屑 [ 4 ]
- 18/06 ・・ 燃焼残留物，例．煙，煙霧または排ガスの浄化生成物 [ 4 ]
- 18/08 ・・・ 煙道ダスト [ 4 ]
- 18/10 ・・・ 焼成屑 [ 4 ]
- 18/12 ・・ 採石場，鉱山または類似のものからのもの [ 4 ]
- 18/14 ・・ 冶金学的工程からのもの（熔融スラグの処理 C 0 4 B 5 / 0 0 ）[ 4 ]
- 18/16 ・・ 建築またはセラミック工業からのもの [ 2 0 2 3 . 0 1 ]
- 18/162 ・・・ セメントキルダスト；ライムキルダスト [ 2 0 2 3 . 0 1 ]
- 18/165 ・・・ セラミック廃棄物 [ 2 0 2 3 . 0 1 ]
- 18/167 ・・・ 再生材料，すなわち，同じ材料の生産に再利用される廃材料 [ 2 0 2 3 . 0 1 ]
- 18/18 ・・ 有機的なもの（C 0 4 B 1 8 / 1 0 が優先）[ 4 ]
- 18/20 ・・・ 高分子化合物からのもの [ 4 ]
- 18/22 ・・・・ ゴム [ 4 ]
- 18/24 ・・・ 植物屑，例．もみがら，トウモロコシ屑；セルロース質材料，例．紙 [ 4 ]
- 18/26 ・・・・ 木材，例．鋸屑，かんな屑 [ 4 ]
- 18/28 ・・・・ 鉱物化；そのための組成物 [ 4 ]
- 18/30 ・・ 混合廃棄物；組成不明の廃棄物，例．都市ごみ（C 0 4 B 1 8 / 1 0 が優先）[ 4 ]
- 20/00 モルタル，コンクリート，または人造石のための充填材としての物質であって，グループ C 0 4 B 1 4 / 0 0 ~ C 0 4 B 1 8 / 0 0 の 2 以上に属するとともに形状または粒度分布に特徴のあるものの使用；モルタル，コンクリートまたは人造石に対するグループ C 0 4 B 1 4 / 0 0 ~ C 0 4 B 1 8 / 0 0 の 2 以上に属する物質の充てん性を向上させるのに特に適合する処理；物質の膨張または解繊（建築材料用補強要素 E 0 4 C 5 / 0 0 ）[ 4 ]
- 20/02 ・処理 [ 4 ]
- 20/04 ・・ 熱処理 [ 4 ]
- 20/06 ・・・ 膨張粘土，パーライト，ひる石または類似の粒状材料 [ 4 ]
- 20/08 ・・ 石綿の解繊 [ 4 ]
- 20/10 ・被覆または含浸 [ 4 ]
- 20/12 ・・ 多層被覆または含浸 [ 4 ]

## 活性成分としての材料の使用 [ 4 ]

### 注

（１）セメント組成物に硬化前に添加され，新規または改良された鉱物相を反応形成する活性成分は，他のセメントへの添加剤として用いられるセメントと同様にグループ C 0 4 B 7 / 0 0 ~ C 0 4 B 1 2 / 0 0 に分類される。[ 4 ]

（２）グループ C 0 4 B 2 2 / 0 0 ~ C 0 4 B 2 4 / 0 0 において，グループ C 0 4 B 1 0 3 / 0 0 のインデキシングコードを付与することが望ましい。[ 6 ]

- 22/00 モルタル，コンクリートまたは人造石のための活性成分としての無機材料，例．硬化促進剤，の使用 [ 4 ]
- 22/02 ・元素 [ 4 ]
- 22/04 ・・ 金属，例．発泡剤として使用するアルミニウム [ 4 ]
- 22/06 ・酸化物；水酸化物 [ 4 ]
- 22/08 ・酸またはその塩 [ 4 ]
- 22/10 ・・ 陰イオン中に炭素を含有するもの，例．炭酸塩 [ 4 ]
- 22/12 ・・ 陰イオン中にハロゲンを含有するもの，例．塩化カルシウム [ 4 ]
- 22/14 ・・ 陰イオン中に硫黄を含有するもの，例．硫化物 [ 4 ]
- 22/16 ・・ 陰イオン中にリンを含有するもの，例．りん酸塩 [ 4 ]
- 24/00 モルタル，コンクリートまたは人造石のための活性成分としての有機物，例．流動化剤，の使用 [ 4 ]
- 24/02 ・アルコール；フェノール；エーテル [ 4 ]
- 24/04 ・カルボン酸；その塩，無水物またはエステル [ 4 ]
- 24/06 ・・ 水酸基を含有するもの [ 4 ]
- 24/08 ・脂肪；脂肪油；エステル型ろう；高級脂肪酸，すなわち 1 個のカルボキシル基に結合する中断しない鎖結合中に少なくとも 7 個の炭素原子を有するもの；酸化された油または脂肪 [ 4 ]
- 24/10 ・炭水化物またはその誘導体 [ 4 ]
- 24/12 ・窒素含有化合物 [ 4 ]
- 24/14 ・・ ペプチド；蛋白質；これらの誘導体 [ 4 ]
- 24/16 ・いおう含有化合物 [ 4 ]
- 24/18 ・・ リグニンスルホン酸またはその誘導体，例．亜硫酸法パルプ廃液 [ 4 ]
- 24/20 ・・ スルホン化された芳香族化合物 [ 4 ]
- 24/22 ・・・ その縮合生成物 [ 4 ]
- 24/24 ・高分子化合物（C 0 4 B 2 4 / 1 4 が優先；スルホン酸塩または硫酸エステルを含む高分子化合物 C 0 4 B 2 4 / 1 6 ）[ 4 ， 6 ]
- 24/26 ・・ 炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られたもの [ 4 ]
- 24/28 ・・ 炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られたもの

## C 0 4 B

	[ 4 ]
24/30	・・・アルデヒドまたはケトンの縮合物[ 4 ]
24/32	・・・ポリエーテル，例．アルキルフェノールポリグリコールエーテル[ 4 ]
24/34	・・・天然樹脂，例．松脂[ 4 ]
24/36	・・・瀝青物，例．タール，ピッチ[ 4 ]
24/38	・・・多糖類またはその誘導体[ 4 ]
24/40	・・・けい素，チタンまたはジルコニウムを含有する化合物[ 4 ]
24/42	・・・炭素 けい素間結合を 1 個以上有する化合物[ 4 ]

### モルタル，コンクリートまたは人造石のための組成物[ 4 ]

#### 注

( 1 )ラストブレイスルールに従ってC 0 4 B 2 6 / 0 0 ~ C 0 4 B 3 2 / 0 0 に分類されるモルタル，コンクリートまたは人造石の組成物の構成成分であって，それ自体が新規かつ非自明であると判断されたものは，グループC 0 4 B 7 / 0 0 ~ C 0 4 B 2 4 / 0 0 の最後の適切な箇所に分類しなければならない。[ 4 ， 8 ]

( 2 )モルタル，コンクリートまたは人造石の組成物の構成成分であって，ラストブレイスルールに従ったC 0 4 B 2 6 / 0 0 ~ C 0 4 B 3 2 / 0 0 への分類からは特定されず，かつ，検索に重要な情報であると思われるものは，グループC 0 4 B 7 / 0 0 ~ C 0 4 B 2 4 / 0 0 の最後の適切な箇所に分類することができる。これは，例えば分類記号の組合せを用いて組成物を検索できることが重要であると考えられる場合にあり得る。このような非義務的分類は，“付加情報”として表示すべきである。例えば，本質的なまたは特徴のある充填材としての粘土を含んだ，ポルトランドセメントモルタル混合物は，グループC 0 4 B 2 8 / 0 4 に分類し，グループC 0 4 B 1 4 / 1 0 にも付加的に分類することができる。[ 4 ， 8 ]

( 3 )グループC 0 4 B 2 6 / 0 0 ~ C 0 4 B 3 2 / 0 0 においては，グループC 0 4 B 1 1 1 / 0 0 のインデキシングコードを付加することが望ましい。[ 6 ]

26/00	有機結合剤のみを含有するモルタル，コンクリートまたは人造石の組成物[ 4 ]
26/02	・・・高分子化合物[ 4 ]
26/04	・・・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られたもの[ 4 ]
26/06	・・・アクリル酸エステル[ 4 ]
26/08	・・・ハロゲン含有するもの[ 4 ]
26/10	・・・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られたもの[ 4 ]
26/12	・・・アルデヒドまたはケトンの縮合物[ 4 ]
26/14	・・・ポリエポキシド[ 4 ]
26/16	・・・ポリウレタン[ 4 ]
26/18	・・・ポリエステル；ポリカーボネート[ 4 ]
26/20	・・・ポリアミド[ 4 ]
26/22	・・・天然樹脂，例．松脂[ 4 ]
26/24	・・・セルロース廃液，例．亜硫酸法パルプ廃液[ 4 ]

26/26	・・・瀝青物，例．タール，ピッチ[ 4 ]
26/28	・・・多糖類またはその誘導体[ 4 ]
26/30	・・・炭素 金属または炭素 けい素間結合を 1 個以上有する化合物[ 4 ]
26/32	・・・けい素を含有するもの[ 4 ]
28/00	無機結合剤を含有するかまたは無機結合剤と有機結合剤との反応生成物を含有するモルタル，コンクリートまたは人造石の組成物，例．ポリカルボン酸セメント[ 4 ]
28/02	・・・硫酸カルシウム以外の水硬性セメントを含有するもの[ 4 ]
28/04	・・・ポルトランドセメント[ 4 ]
28/06	・・・アルミナセメント[ 4 ]
28/08	・・・スラグセメント[ 4 ]
28/10	・・・石灰セメントまたは酸化マグネシウムセメント[ 4 ]
28/12	・・・水硬性石灰[ 4 ]
28/14	・・・硫酸カルシウムセメントを含有するもの[ 4 ]
28/16	・・・無水石膏含有するもの[ 4 ]
28/18	・・・シリカー石灰型の混合物を含有するもの[ 4 ]
28/20	・・・砂 石灰[ 4 ]
28/22	・・・石灰およびボゾラン[ 4 ]
28/24	・・・けい酸アルキルアンモニウムまたはアルカリ金属のけい酸塩を含有するもの；シリカゾル含有するもの[ 4 ]
28/26	・・・アルカリ金属のけい酸塩[ 4 ]
28/28	・・・多価の有機酸含有するもの，例．ポリカルボン酸セメント[ 4 ]
28/30	・・・マグネシウムセメント含有するもの( 酸化マグネシウムセメントC 0 4 B 2 8 / 1 0 ) [ 4 ]
28/32	・・・オキシ塩化マグネシウムセメント，例．ソーレルセメント[ 4 ]
28/34	・・・冷間りん酸塩結合剤含有するもの[ 4 ]
28/36	・・・いおう，硫化物またはセレン含有するもの[ 4 ]
30/00	結合剤を含有しない人造石のための組成物( 溶融スラグから的人造石C 0 4 B 5 / 0 0 ) [ 4 ]
30/02	・・・繊維状材料含有するもの[ 4 ]
32/00	このサブクラスの他のグループに属さない人造石( 溶融スラグから的人造石C 0 4 B 5 / 0 0 ) [ 4 ]
32/02	・・・強化材を有するもの[ 4 ]

### セラミックス

33/00	粘土製品( モノリシックな耐火物または耐火モルタルC 0 4 B 3 5 / 6 6 ；多孔質製品C 0 4 B 3 8 / 0 0 ) [ 2 ]
33/02	・・・個々の，またはパッチとしての原料の調製または処理

33/04	・粘土；カオリン		有する粗粒サイズの混合物からの耐火物 [ 6 ]
33/06	・石灰の無害化		
33/08	・白華防止	35/04	・酸化マグネシウムを基とするもの[ 6 ]
33/10	・鉄または石灰の除去	35/043	・粗粒サイズの混合物からの耐火物 [ 6 ]
33/13	・配合成分 ( C 0 4 B 3 3 / 3 6 , C 0 4 B 3 5 / 7 1 が優先 ) [ 2 ]	35/047	・酸化クロムまたはクロム鉱石を 含有するもの [ 6 ]
33/132	・廃棄物；ゴミ ( C 0 4 B 3 3 / 1 6 が優先 ) [ 8 ]	35/05	・溶融鑄造による耐火物 [ 6 ]
33/135	・燃焼残渣，例．フライアッシュ， 焼却ゴミ [ 8 ]	35/053	・ファインセラミックス [ 6 ]
33/138	・冶金的方法からの廃棄物，例．鉱 滓，炉塵，亜鉛メッキからのもの [ 8 ]	35/057	・酸化カルシウムを基とするもの [ 6 ]
33/14	・着色物質	35/06	・ドロマイトから誘導した混合酸化物 を基とするもの
33/16	・非可塑性物質，例．焼粉，石英	35/08	・酸化ベリリウムを基とするもの [ 6 ]
33/18	・バッチを液状化するためのもの	35/10	・酸化アルミニウムを基とするもの [ 6 ]
33/20	・乾式プレスのためのもの ( C 0 4 B 3 3 / 1 3 が優先 )	35/101	・粗粒サイズの混合物からの耐火物 [ 6 ]
33/22	・焼粉製品	35/103	・非酸化物耐火物質，例．炭素を含 有するもの ( C 0 4 B 3 5 / 1 0 6 が優 先 ) [ 6 ]
33/24	・磁器または白色陶磁器の製造	35/105	・酸化クロムまたはクロム鉱石を含 有するもの [ 6 ]
33/26	・電気絶縁用磁器の	35/106	・酸化ジルコニウムまたはジルコン ( Z r S i O <sub>4</sub> ) を含有するもの [ 6 ]
33/28	・でいしょう鑄込み成形	35/107	・溶融鑄造による耐火物 [ 6 ]
33/30	・乾燥方法	35/109	・酸化ジルコニウムまたはジルコン ( Z r S i O <sub>4</sub> ) を含有するもの [ 6 ]
33/32	・焼成方法	35/111	・ファインセラミックス [ 6 ]
33/34	・施釉と結合されたもの	35/113	・ベータ酸化アルミニウムを基とす るもの [ 6 ]
33/36	・強化粘土製品 [ 2 ]	35/115	・半透明または透明製品 [ 6 ]
35/00	組成に特徴を持つ成形セラミック製品；セ ラミック組成 ( 炭化物，ダイヤモンド，酸 化物，ほう化物，窒化物，けい化物に結合 しているか，または他の金属化合物，例． 酸窒化物もしくは硫化物，と結合している 巨視的な強化材としての使用以外の遊離金 属を含有するセラミック組成物，例．サー メット C 2 2 C )；セラミック製品を製造す るための無機化合物粉末の処理 [ 4 ]	35/117	・複合組成物 [ 6 ]
注		35/119	・酸化ジルコニウムをもつもの [ 6 ]
( 1 )	このグループにおいては，相反する指示がない限り，組 成物は最も高い重量比を有する構成成分に従って分類される。 [ 3 ]	35/12	・酸化クロムを基とするもの ( C 0 4 B 3 5 / 0 4 7 , C 0 4 B 3 5 / 1 0 5 が 優先 ) [ 6 ]
( 2 )	このグループにおいては，マグネシウムはアルカリ土類 金属とみなす。[ 6 ]	35/14	・シリカを基とするもの [ 6 ]
( 3 )	このグループにおいては，複合組成物は焼結助剤以外の 種々の粉末物質の焼結混合物とみなし，それらの物質は焼結製 品において分離した相として存在する。[ 6 ]	35/16	・粘土以外のけい酸塩を基とするもの [ 6 ]
( 4 )	このグループにおいては，ファインセラミックスは多結 晶の微粒子ミクロ構造，例．1 0 0 μ m 以下の寸法の，をもつ 製品とみなす。[ 6 ]	35/18	・酸化アルミニウムに富むもの [ 6 ]
( 5 )	セラミック粉末の製造は，特定の特徴をもつ粉末の製造 に関する限り，このグループに分類する。[ 6 ]	35/185	・ムライト [ 6 ]
35/01	・酸化物を基とするもの [ 6 ]	35/19	・アルカリ金属アルミノけい酸塩， 例．黝輝石 ( スボジューメン ) [ 6 ]
35/03	・酸化マグネシウム，酸化カルシウムま たはドロマイトから誘導した混合酸化物 を基とするもの [ 6 ]	35/195	・アルカリ土類金属アルミノけい酸 塩，例．堇青石 ( コージェライト ) [ 6 ]
35/035	・非酸化物耐火物質，例．炭素，を含	35/20	・酸化マグネシウムに富むもの [ 6 ]
		35/22	・酸化カルシウムに富むもの [ 6 ]
		35/26	・フェライトを基とするもの [ 2 , 6 ]
		35/28	・主酸化物として酸化ニッケルをもつ もの [ 2 , 6 ]
		35/30	・酸化亜鉛をもつもの [ 2 , 6 ]
		35/32	・主酸化物として酸化コバルトをもつ もの [ 2 , 6 ]
		35/34	・酸化亜鉛をもつもの [ 2 , 6 ]
		35/36	・主酸化物として酸化マンガンをもつ もの [ 2 , 6 ]

# C 0 4 B

35/38	・ ・ ・ 酸化亜鉛をもつもの [ 2 , 6 ]	35/499	・ ・ ・ チタン酸塩をもつもの [ 6 ]
35/40	・ ・ ・ 希土類酸化物をもつもの [ 2 , 6 ]	35/50	・ 希土類化合物を基とするもの
35/42	・ ・ 亜クロム酸塩を基とするもの ( C 0 4 B 3 5 / 0 4 7 , C 0 4 B 3 5 / 1 0 5 が優先 ) [ 2 , 6 ]	35/505	・ ・ 酸化イットリウムを基とするもの [ 6 ]
35/44	・ ・ アルミン酸塩を基とするもの [ 2 , 6 ]	35/51	・ アクチニド系化合物を基とするもの [ 2 ]
35/443	・ ・ ・ アルミン酸マグネシウムスピネル [ 6 ]	35/515	・ 非酸化物を基とするもの ( C 0 4 B 3 5 / 5 0 , C 0 4 B 3 5 / 5 1 が優先 ) [ 6 ]
35/447	・ ・ リン酸塩を基とするもの [ 6 ]	35/52	・ ・ 炭素, 例 . 黒鉛, を基とするもの [ 6 ]
35/45	・ ・ 酸化銅または酸化銅と他の酸化物の固溶体を基とするもの [ 6 ]	35/524	・ ・ ・ ポリマー前駆体, 例 . ガラス状炭素物質, から得たもの [ 6 ]
35/453	・ ・ 酸化亜鉛, 酸化スズまたは酸化ビスマスまたはそれらと他の酸化物, 例 . 亜鉛酸塩, スズ酸塩またはビスマス酸塩, の固溶体を基とするもの [ 6 ]	35/528	・ ・ ・ 他の非有機成分を有するまたは有しない炭素質粒子から得たもの [ 6 ]
35/457	・ ・ ・ 酸化スズまたはスズ酸塩を基とするもの [ 6 ]	35/532	・ ・ ・ 炭化できる結合剤を含むもの [ 6 ]
35/46	・ ・ 酸化チタンまたはチタン酸塩を基とするもの ( 酸化ジルコニウムまたは酸化ハフニウム, ジルコニウム酸塩またはハフニウム酸塩を含むもの C 0 4 B 3 5 / 4 9 ) [ 6 ]	35/536	・ ・ ・ 膨張黒鉛を基とするもの [ 6 ]
35/462	・ ・ ・ チタン酸塩を基とするもの [ 6 ]	35/547	・ ・ 硫化物またはセレン化合物を基とするもの [ 6 ]
35/465	・ ・ ・ アルカリ土類金属のチタン酸塩を基とするもの [ 6 ]	35/553	・ ・ ふっ化物を基とするもの [ 6 ]
35/468	・ ・ ・ ・ チタン酸バリウムを基とするもの [ 6 ]	35/56	・ ・ 炭化物を基とするもの [ 4 ]
35/47	・ ・ ・ ・ チタン酸ストロンチウムを基とするもの [ 6 ]	35/563	・ ・ ・ 炭化ほう素を基とするもの [ 6 ]
35/472	・ ・ ・ ・ チタン酸鉛を基とするもの [ 6 ]	35/565	・ ・ ・ 炭化けい素を基とするもの [ 6 ]
35/475	・ ・ ・ ・ チタン酸ビスマスを基とするもの [ 6 ]	35/567	・ ・ ・ ・ 粗粒サイズの混合物からの耐火物 [ 6 ]
35/478	・ ・ ・ ・ チタン酸アルミニウムを基とするもの [ 6 ]	35/569	・ ・ ・ ・ ファインセラミックス [ 6 ]
35/48	・ ・ 酸化ジルコニウムまたは酸化ハフニウムまたはジルコニウム酸塩またはハフニウム酸塩を基とするもの [ 6 ]	35/571	・ ・ ・ ・ ・ ポリマー前駆体から得たもの [ 6 ]
35/482	・ ・ ・ 粗粒サイズの混合物からの耐火物 [ 6 ]	35/573	・ ・ ・ ・ ・ 反応焼結により得たもの [ 6 ]
35/484	・ ・ ・ 熔融鑄造による耐火物 [ 6 ]	35/575	・ ・ ・ ・ ・ 加圧焼結により得たもの [ 6 ]
35/486	・ ・ ・ ファインセラミックス [ 6 ]	35/576	・ ・ ・ ・ ・ 無加圧焼結により得たもの [ 6 ]
35/488	・ ・ ・ ・ 複合組成物 [ 6 ]	35/577	・ ・ ・ ・ ・ 複合組成物 [ 6 ]
35/49	・ ・ ・ 酸化チタンまたはチタン酸塩を含むもの [ 3 , 6 ]	35/58	・ ・ ほう化物, 窒化物またはけい化物を基とするもの [ 4 , 6 ]
35/491	・ ・ ・ ・ ジルコニウム酸鉛およびチタン酸鉛を基とするもの [ 6 ]	35/581	・ ・ 窒化アルミニウムを基とするもの [ 6 ]
35/493	・ ・ ・ ・ ・ 他の鉛化合物も含むもの [ 6 ]	35/582	・ ・ ・ ・ 複合組成物 [ 6 ]
35/495	・ ・ 酸化バナジウム, 酸化ニオブ, 酸化タンタル, 酸化モリブデンまたは酸化タングステンまたはそれらと他の酸化物との固溶体, 例 . バナジウム酸塩, ニオブ酸塩, タンタル酸塩, モリブデン酸塩またはタングステン酸塩, を基とするもの [ 6 ]	35/583	・ ・ ・ 窒化ほう素を基とするもの [ 6 ]
35/497	・ ・ ・ 酸化鉛との固溶体を基とするもの [ 6 ]	35/5831	・ ・ ・ ・ 立方晶窒化ほう素を基とするもの [ 6 ]
		35/5833	・ ・ ・ ・ 六方晶窒化ほう素を基とするもの [ 6 ]
		35/5835	・ ・ ・ ・ 複合組成物 [ 6 ]
		35/584	・ ・ ・ 窒化けい素を基とするもの [ 6 ]
		35/586	・ ・ ・ ・ 粗粒サイズの混合物からの耐火物 [ 6 ]
		35/587	・ ・ ・ ・ ファインセラミックス [ 6 ]
		35/589	・ ・ ・ ・ ・ ポリマー前駆体から得たもの [ 6 ]
		35/591	・ ・ ・ ・ ・ 反応焼結により得たもの [ 6 ]
		35/593	・ ・ ・ ・ ・ 加圧焼結により得たもの ( C 0 4 B 3 5 / 5 9 4 が優先 ) [ 6 ]
		35/594	・ ・ ・ ・ ・ 反応焼結製品の加圧または無加圧焼結により得たもの [ 6 ]
		35/596	・ ・ ・ ・ ・ 複合組成物 [ 6 ]
		35/597	・ ・ ・ 酸窒化けい素を基とするもの [ 6 ]
		35/599	・ ・ ・ ・ けい素アルミニウム酸窒化物 [ サイアロン ] を基とするもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
		35/622	・ 製造方法 ; セラミック製品を製造するた

- めの無機化合物粉末の処理方法 [ 6 ]
- 35/624 ・ ・ ソル - ゲル法 [ 6 ]
- 35/626 ・ ・ 個々のまたは一括しての粉末の製造または処理 [ 6 ]
- 35/628 ・ ・ ・ 粉末を被覆するもの [ 6 ]
- 35/63 ・ ・ ・ 特に製品の製造に適合する添加剤を用いるもの [ 6 ]
- 35/632 ・ ・ ・ ・ 有機添加剤 [ 6 ]
- 35/634 ・ ・ ・ ・ ・ ポリマー ( C 0 4 B 3 5 / 6 3 6 が優先 ) [ 6 ]
- 35/636 ・ ・ ・ ・ ・ 多糖類またはその誘導体 [ 6 ]
- 35/638 ・ ・ ・ ・ ・ その除去 [ 6 ]
- 35/64 ・ ・ 焼成または焼結方法 ( C 0 4 B 3 3 / 3 2 が優先 ) [ 6 ]
- 35/645 ・ ・ ・ 加圧焼結 [ 6 ]
- 35/65 ・ ・ ・ 遊離金属または遊離けい素を含む組成物の反応焼結 [ 3 ]
- 35/653 ・ ・ 溶融段階を伴う方法 [ 6 ]
- 35/657 ・ ・ ・ 耐火物製造用 ( C 0 4 B 3 5 / 0 5 , C 0 4 B 3 5 / 1 0 7 , C 0 4 B 3 5 / 4 8 4 が優先 ) [ 6 ]
- 35/66 ・ モノリシックな耐火物または耐火モルタルであって、粘土を含み、または含まぬもの

## 注

3 5 / 6 6 に分類される、水硬セメント、例、アルミナセメント、を含んだ耐火モルタル組成物の構成成分であって、検索に重要な情報であると思われるものは、グループ 7 / 0 0 から 2 4 / 0 0 において最後の適切な箇所に分類することができる。これは、例えば分類記号の組合わせを用いて組成物を検索できることが重要であると考えられる場合にあり得る。こうした非義務的分類は、“付加情報”として表示すべきである。例えば、こうした 2 4 / 0 0 への付加分類は、モルタル組成物に添加された有機凝固遅延剤に対し行うことができる。[ 8 ]

- 35/71 ・ 巨視的な強化用物質を含むセラミック製品 ( C 0 4 B 3 5 / 6 6 が優先 ) [ 3 , 4 ]
- 35/74 ・ ・ 成形された金属材料を含むもの [ 2 ]
- 35/76 ・ ・ ・ 繊維、フィラメント、ウイスキー、小板状体または類似物 [ 2 ]
- 35/78 ・ ・ 非金属材料を含有するもの [ 2 ]
- 35/80 ・ ・ ・ 繊維、フィラメント、ウイスキー、小板状体または類似物 [ 2 ]
- 35/81 ・ ・ ・ ・ ウイスキー [ 6 ]
- 35/82 ・ ・ ・ ・ アスベスト；ガラス；溶融シリカ [ 2 ]
- 35/83 ・ ・ ・ ・ 炭素基質の炭素繊維 [ 6 ]

## 注

このグループに包含される製品は通常“炭素 - 炭素コンポジット”と呼ばれる。[ 6 ]

- 35/84 ・ ・ ・ 含浸されたまたは被覆された材料 [ 2 ]
- 37/00 焼成セラミック物品と他の焼成セラミック物品または他の物品との加熱による接合
- 37/02 ・ 金属物品との

- 37/04 ・ ガラスから作られた物品との

- 38/00 多孔質化モルタル、コンクリート、人造石又はセラミックス製品；その製造（ガスまたはガス生成物質によるスラグの処理 C 0 4 B 5 / 0 6 ) [ 4 , 6 ]

## 注

成分または組成物に特徴のある多孔質のモルタル、コンクリート、人造石またはセラミック製品はグループ 2 / 0 0 から 3 5 / 0 0 にも分類する。[ 4 ]

- 38/02 ・ 化学的発泡剤の添加によるもの [ 4 ]
- 38/04 ・ 添加物質の溶出によるもの [ 4 ]
- 38/06 ・ 添加物質の焼失によるもの [ 4 ]
- 38/08 ・ 多孔質物質の添加によるもの [ 4 ]
- 38/10 ・ 起泡剤の使用によるもの ( C 0 4 B 3 8 / 0 2 が優先 ) [ 4 ]
- 40/00 モルタル組成物、コンクリート組成物または人造石組成物の性質、例、凝結もしくは硬化性、に影響を与えるかそれを変化させるためのプロセス一般（活性成分の選択によるもの C 0 4 B 2 2 / 0 0 ~ C 0 4 B 2 4 / 0 0 ；明確に規定された組成物の硬化 C 0 4 B 2 6 / 0 0 ~ C 0 4 B 2 8 / 0 0 ；多孔質、細胞状または軽量化するもの C 0 4 B 3 8 / 0 0 ) [ 4 , 6 ]
- 40/02 ・ 硬化環境の選択 [ 4 ]
- 40/04 ・ 混合水の蒸発防止（永久的な被覆 C 0 4 B 4 1 / 0 0 ) [ 4 ]
- 40/06 ・ 凝結抑制、例、破壊可能容器中に水を含むする遅硬化型モルタル [ 4 ]
- 41/00 モルタル、コンクリート、人造石またはセラミックスの後処理；天然石の処理（冷間うわ薬以外のうわ薬 C 0 3 C 8 / 0 0 ) [ 3 ]

## 注

( 1 ) このグループにおいて、下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる：[ 6 ]

“モルタル”、“コンクリート”および“人造石”は最初の成形後の材料を包含する。[ 6 ]

( 2 ) ある材料をこれと同じ材料で処理することまたは後でこれと同じ材料に変化する物質で処理すること、例、被覆または含浸、はこのグループでいう後処理とは考えないで、材料の調製として分類する、例、炭化可能な物質によって含浸された炭素体は 3 5 / 5 2 に分類する。

( 3 ) グループ C 0 4 B 4 1 / 4 5 ~ C 0 4 B 4 1 / 8 0 においては、ラストプレイス優先ルールが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り、最後の適切な箇所に分類する。[ 4 ]

- 41/45 ・ 被覆または含浸 [ 4 ]
- 41/46 ・ ・ 有機物によるもの [ 4 ]
- 41/47 ・ ・ ・ 油、脂肪またはろう [ 4 ]
- 41/48 ・ ・ ・ 高分子化合物 [ 4 ]

- 41/49 ・ ・ ・ 炭素 金属または炭素 けい素間結合を 1 個以上有する化合物 [ 4 ]
- 41/50 ・ ・ 無機物によるもの [ 4 ]
- 41/51 ・ ・ ・ 金属化 [ 4 ]
- 41/52 ・ ・ 多段被覆または含浸 [ 4 ]
- 41/53 ・ 処理した物品からの材料の一部の除去を含む [ 4 ]
- 41/60 ・ 人造石のみの [ 4 ]
- 41/61 ・ ・ 被覆または含浸 [ 4 ]
- 41/62 ・ ・ ・ 有機物によるもの [ 4 ]
- 41/63 ・ ・ ・ ・ 高分子化合物 [ 4 ]
- 41/64 ・ ・ ・ ・ 炭素 金属または炭素 けい素間結合を 1 個以上有する化合物 [ 4 ]
- 41/65 ・ ・ ・ 無機物によるもの [ 4 ]
- 41/66 ・ ・ ・ ・ ふっ化物, 例 . オクラレーション [ 4 ]
- 41/67 ・ ・ ・ ・ りん酸塩 [ 4 ]
- 41/68 ・ ・ ・ ・ けい酸 ; けい酸塩 [ 4 ]
- 41/69 ・ ・ ・ ・ 金属 [ 4 ]
- 41/70 ・ ・ ・ 異なった組成を有する少なくとも 2 つの積層された被覆を得るためのもの [ 4 ]
- 41/71 ・ ・ ・ ・ 被覆の少なくとも 1 つは有機物であるもの [ 4 ]
- 41/72 ・ ・ 処理した物品からの材料の一部の除去を含むもの, 例 . エッチング [ 4 ]
- 41/80 ・ セラミックスのみの [ 4 ]
- 41/81 ・ ・ 被覆または含浸 [ 4 ]
- 41/82 ・ ・ ・ 有機物によるもの [ 4 ]
- 41/83 ・ ・ ・ ・ 高分子化合物 [ 4 ]
- 41/84 ・ ・ ・ ・ 炭素 金属または炭素 けい素間結合を 1 個以上有する化合物 [ 4 ]
- 41/85 ・ ・ ・ 無機物によるもの [ 4 ]
- 41/86 ・ ・ ・ ・ うわ薬 ; 冷間うわ薬 [ 4 ]
- 41/87 ・ ・ ・ ・ セラミックス [ 4 ]
- 41/88 ・ ・ ・ ・ 金属 [ 4 ]
- 41/89 ・ ・ ・ 異なった組成を有する少なくとも 2 つの積層された被覆を得るためのもの [ 4 ]
- 41/90 ・ ・ ・ ・ 被覆の少なくとも 1 つは金属であるもの [ 4 ]
- 41/91 ・ ・ 処理した物品からの材料の一部の除去を含むもの, 例 . エッチング [ 4 ]

活性成分の機能または特性に関し, グループ 2 2 / 0 0 および 2 4 / 0 0 と関連するインデキシング系列 [ 6 ]

- 103/00 活性成分の機能または特性 [ 6 ]
- 103/10 ・ 促進剤 [ 6 ]
- 103/12 ・ ・ 凝結促進剤 [ 6 ]
- 103/14 ・ ・ 硬化促進剤 [ 6 ]
- 103/20 ・ 遅延剤 [ 6 ]
- 103/22 ・ ・ 凝結遅延剤 [ 6 ]
- 103/24 ・ ・ 硬化遅延剤 [ 6 ]

- 103/30 ・ 減水剤, 流動化剤, A E 剤 [ 6 ]
- 103/32 ・ ・ 高性能流動化剤 ( 高性能減水剤 ) [ 6 ]
- 103/40 ・ 界面活性剤 ; 分散剤 [ 6 ]
- 103/42 ・ 孔形成剤 [ 6 ]
- 103/44 ・ 濃度増加剤, ゲル増加剤または粘度増加剤 [ 6 ]
- 103/46 ・ 水損失減少剤, 吸湿剤または親水化剤 [ 6 ]
- 103/48 ・ 泡安定剤 [ 6 ]
- 103/50 ・ 消泡剤 ; 脱泡剤 [ 6 ]
- 103/52 ・ 粉碎助剤 [ 6 ]
- 103/54 ・ 顔料 ; 染料 [ 6 ]
- 103/56 ・ 乳濁剤 [ 6 ]
- 103/60 ・ 化学的, 物理的または生物学的破壊作用に対する保護剤 [ 6 ]
- 103/61 ・ ・ 防錆剤 [ 6 ]
- 103/63 ・ ・ 防炎剤 [ 6 ]
- 103/65 ・ ・ 防水剤または撥水剤 [ 6 ]
- 103/67 ・ ・ 殺生物剤 [ 6 ]
- 103/69 ・ ・ ・ 殺菌剤 [ 6 ]

モルタル, コンクリートまたは人造石の機能, 特性または使用に関し, グループ 2 6 / 0 0 ~ 3 2 / 0 0 と関連したインデキシング系列 [ 6 ]

- 111/00 モルタル, コンクリートまたは人造石の機能, 特性または使用 [ 6 ]
- 111/10 ・ 特定の物質が含まれていないことに特徴のある組成物 [ 6 ]
- 111/12 ・ ・ アスベストの不在, 例 . セメント - アスベスト代用物 [ 6 ]
- 111/20 ・ 化学的, 物理的または生物学的破壊作用の阻止 [ 6 ]
- 111/21 ・ ・ 耐エフロレッセンス [ 6 ]
- 111/22 ・ ・ 耐中性化 [ 6 ]
- 111/23 ・ ・ 耐酸 [ 6 ]
- 111/24 ・ ・ 耐海水 [ 6 ]
- 111/25 ・ ・ 耐落書き [ 6 ]
- 111/26 ・ ・ 補強性腐食 [ 6 ]
- 111/27 ・ ・ 耐水, すなわち防水または撥水材料 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 111/28 ・ ・ 耐火 [ 6 ]
- 111/30 ・ 釘付け可能な, またはのこぎりでひける材料 [ 6 ]
- 111/32 ・ 膨張禁止材料 [ 6 ]
- 111/34 ・ 防縮材料 [ 6 ]
- 111/40 ・ 多孔性または軽量の材料 [ 6 ]
- 111/42 ・ ・ 浮上材料 [ 6 ]
- 111/50 ・ 柔軟性または伸縮性材料 [ 6 ]
- 111/52 ・ 防音材料 [ 6 ]
- 111/54 ・ 自然石の代用品, 例 . 人造大理石 [ 6 ]
- 111/56 ・ 管の構成に適した組成物, 例 . 遠心鑄造によるもの [ 6 ]
- 111/60 ・ 床材料 [ 6 ]
- 111/62 ・ ・ セルフレベリング組成物 [ 6 ]
- 111/70 ・ グラウト [ 6 ]



- 111/72 ・既存の建築物または建築材料の修理に用  
いられる組成物 [ 6 ]
- 111/74 ・水中における適用 [ 6 ]
- 111/76 ・氷点下温度における使用 [ 6 ]
- 111/80 ・光学的特性，例．透明 [ 6 ]
- 111/82 ・・着色した材料 [ 6 ]
- 111/90 ・電気的特性 [ 6 ]
- 111/92 ・・電気絶縁材料 [ 6 ]
- 111/94 ・・導電材料 [ 6 ]